

2022年10月27日

# 東映アニメーション株式会社

2023年3月期 第2四半期決算  
(2022/4~2022/9)

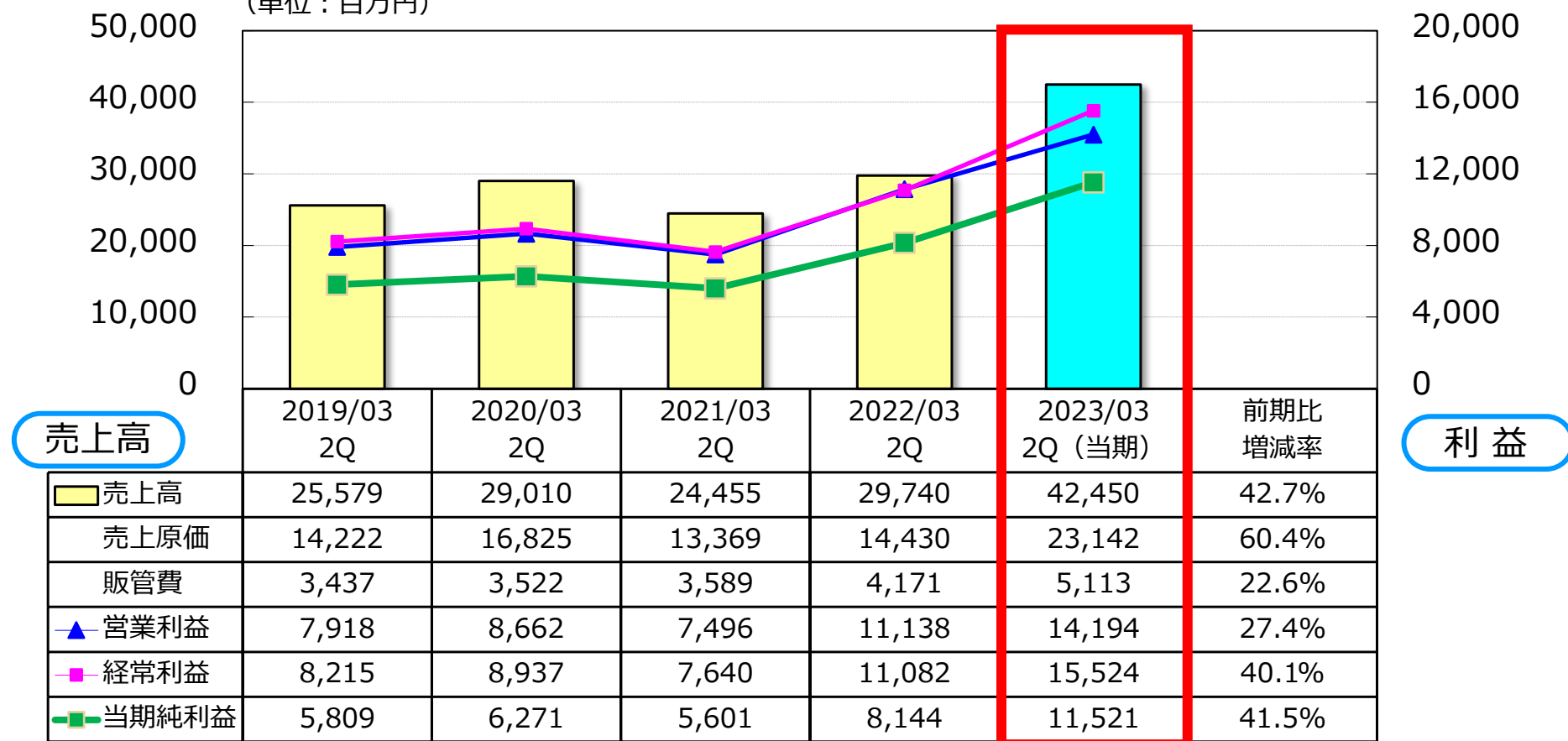


映画『THE FIRST SLAM DUNK』  
2022年12月3日(土) 公開予定

# 2023年3月期第2四半期決算(連結)

- 売上高及び各利益は、上期としての過去最高記録を大幅に更新
- 映画「ONE PIECE FILM RED」等の大ヒット、並びに同関連事業への相乗効果により、製作原価や広告宣伝費の増加分を吸収
- 円安進行等の経済環境も、海外売上高比率の高い当社業績全般の押上げ要因

(単位：百万円)



# 2023年3月期第2四半期 セグメント別内訳(連結)

(百万円)		2022年3月期 2Q	2023年3月期 2Q	増減率
映像製作・販売事業	売上高	11,783	19,847	68.4%
	セグメント利益	4,613	6,353	37.7%
著作権事業	売上高	16,733	20,432	22.1%
	セグメント利益	8,377	9,654	15.2%
商品販売事業	売上高	978	1,516	55.0%
	セグメント利益	△108	△45	-
その他事業	売上高	279	774	177.5%
	セグメント利益	△157	76	-
連結	売上高	29,740	42,450	42.7%
	営業利益	11,138	14,194	27.4%

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

# 2023年3月期第2四半期 セグメント別分析①(映像製作・販売)

(百万円)	22/03 2Q	23/03 2Q
売上全体	29,740	42,450
<b>映像製作・販売事業</b>	<b>11,783</b>	<b>19,847</b>
劇場アニメ	117	3,164
テレビアニメ	1,748	1,701
コンテンツ	214	180
海外映像	7,771	12,678
その他	1,932	2,124
著作権事業	16,733	20,432
国内著作権	5,994	7,770
海外著作権	10,739	12,662
商品販売事業	978	1,516
その他事業	279	774

## 映像製作・販売事業 (↑ 前期比68.4%増)

- 「劇場アニメ」は、映画「ONE PIECE FILM RED」の記録的ヒット等により、大幅な増収
- 「テレビアニメ」は、ゲーム向け音声製作が好調に稼働したものの、放映作品数は減少したこと等から、若干の減収
- 「コンテンツ」は、前年同期好調に稼働した映画「魔女見習いをさがして」や「デジモンアドベンチャー」シリーズのブルーレイ・DVDの反動減等により、減収
- 「海外映像」は、映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、映画「ONE PIECE FILM RED」の海外上映権販売に加えて、海外映像配信権販売が好調に稼働したことから、大幅な増収
- 「その他」は、国内の映像配信権販売が好調に稼働したことから、増収

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

# 2023年3月期第2四半期 セグメント別分析②( 版權・商品・その他 )

(百万円)	22/03 2Q	23/03 2Q
売上全体	29,740	42,450
映像製作・販売事業	11,783	19,847
劇場アニメ	117	3,164
テレビアニメ	1,748	1,701
コンテンツ	214	180
海外映像	7,771	12,678
その他	1,932	2,124
版權事業	16,733	20,432
国内版權	5,994	7,770
海外版權	10,739	12,662
商品販売事業	978	1,516
その他事業	279	774

※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

## 版權事業 ( ↑ 前期比22.1%増 )

- ・「国内版權」は、「ワンピース」や「ドラゴンボール」シリーズ等の商品化権販売、特に両作品の劇場公開向け販売促進が好調に稼働したことから、大幅な増収
- ・「海外版權」は、「ワンピース」のゲーム化権販売に加え、「ドラゴンボール」シリーズや「ワンピース」、「デジモンアドベンチャー」シリーズの商品化権販売が好調に稼働したことから、大幅な増収

## 商品販売事業 ( ↑ 前期比55.0%増 )

- ・「ワンピース」のショップ事業や「美少女戦士セーラームーン」シリーズの商品販売が好調に稼働したこと等から増収となったものの、コロナ禍前の水準には至らず

## その他事業 ( ↑ 前期比177.5%増 )

- ・「ワールドトリガー」や「ワンピース」の催事が好調に稼働したことから、増収

# 2023年3月期第2四半期 決算総括

(百万円)	22/03 2Q実績	23/03 2Q実績	増減	増減率
売上高	29,740	42,450	12,710	42.7%
売上原価	14,430	23,142	8,711	60.4%
売上総利益	15,309	19,308	3,998	26.1%
販管費	4,171	5,113	942	22.6%
営業利益	11,138	14,194	3,055	27.4%
営業外収益	269	1,341	1,072	397.7%
営業外費用	325	12	△313	△96.2%
経常利益	11,082	15,524	4,441	40.1%
特別損益	△17	-	△17	-
税引前当期純利益	11,064	15,524	4,459	40.3%
法人税等	2,784	4,191	1,407	50.6%
法人税等調整額	135	△189	△325	-
少数株主利益	-	-	-	-
当期純利益	8,144	11,521	3,376	41.5%

## 売上高

- 増収幅が大きい事業
  - ①海外映像 [4,906] ⇒ ②劇場 [3,047] ⇒ ③海外版權 [1,922]
- 減収幅が大きい事業
  - ①テレビ [△47] ⇒ ②コンテンツ [△33]

## 原価・売上総利益

- 売上総利益率：45.5%(前期:51.4%)  
複数の大型劇場作品の製作原価を計上したことにより、前期比では低下

## 販管費

- 販管費 [+942]
  - ①広告宣伝費 [+247]  
(前期:381 当期:628)
  - ②業務委託費 [+169]  
(前期:229 当期:399)

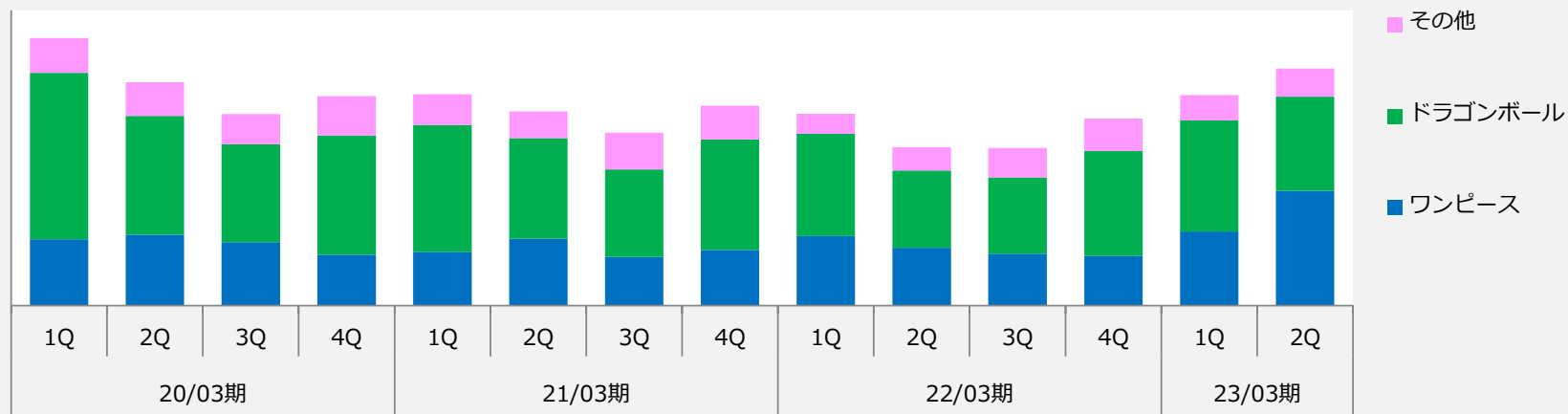
## 営業外損益

- 営業外収益 [+1,072]
  - ①雑収入(含為替差益) [+496]
  - ②受取配当金 [+459]
- 営業外費用 [△313]
  - ①為替差損 [△248]
  - ②持分法投資損失 [△65]

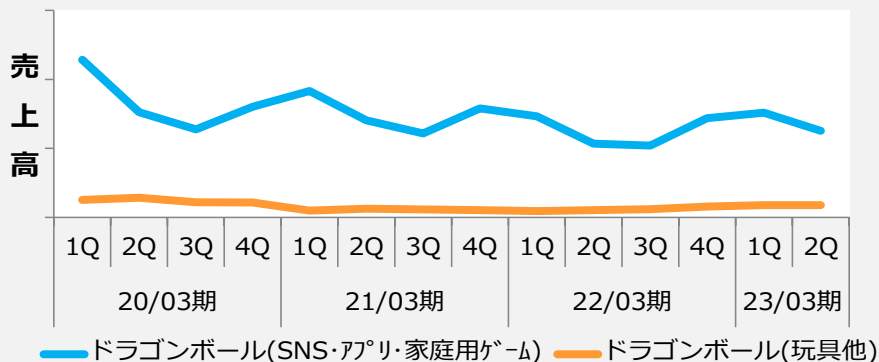
# 主要作品の国内版權事業の状況

- 映画「ONE PIECE FILM RED」の記録的ヒットが影響し、大幅な増収
- 「ワンピース」は既存アプリ・コラボがどちらも好調でゲーム化権が大幅に伸張
- 劇場公開作品の販売促進を含む商品化権販売も好調に稼働

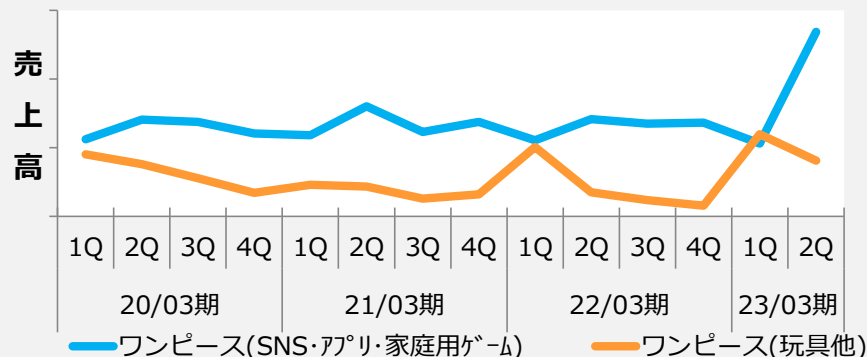
## 国内版權売上高の推移



## ドラゴンボール国内版權売上高の推移



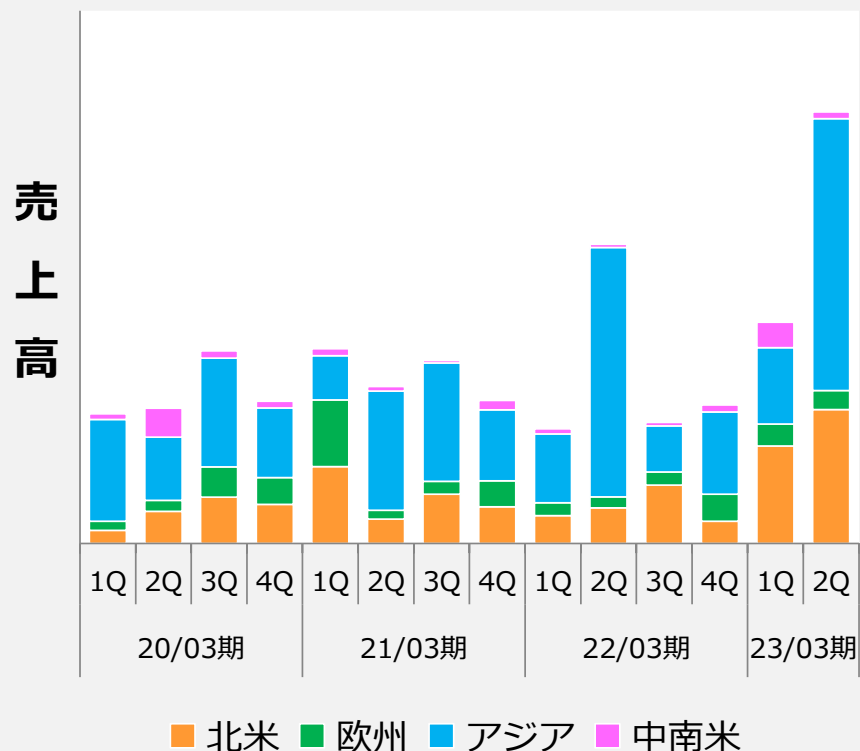
## ワンピース 国内版權売上高の推移



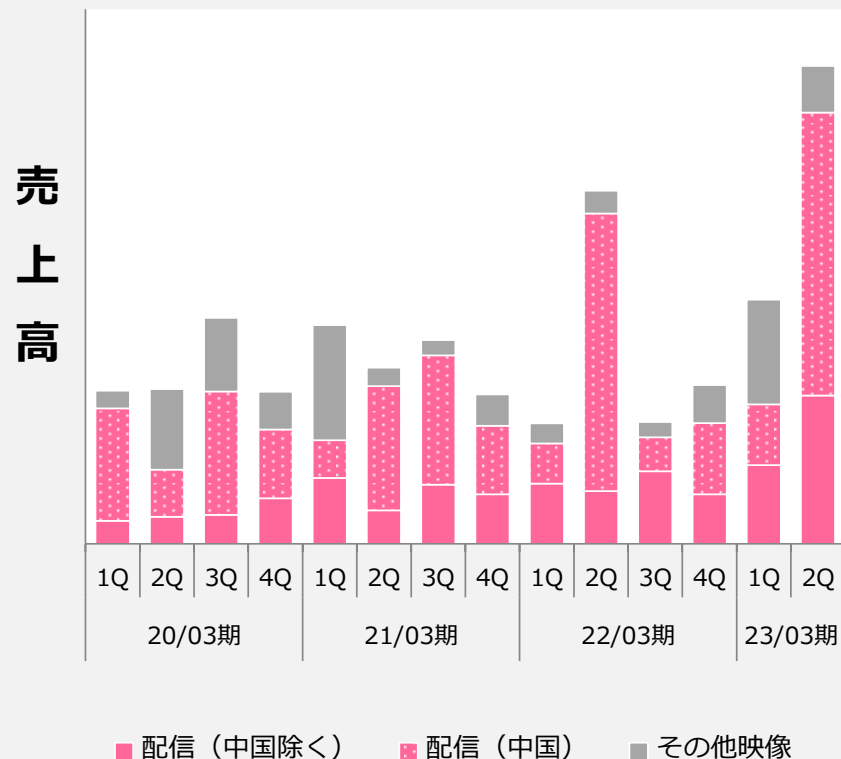
# 海外映像事業の状況

- 北米・中国で配信権販売が好調に推移、円安進行の後押しもあり四半期・上半期両方で過去最高の売上を記録
- 1Qは「ドラゴンボール」、2Qは「ワンピース」の劇場上映権販売が好調
- 下期以降も映画「ONE PIECE FILM RED」の上映権売上を随時計上予定

## 海外映像 売上高の推移



## 事業内訳



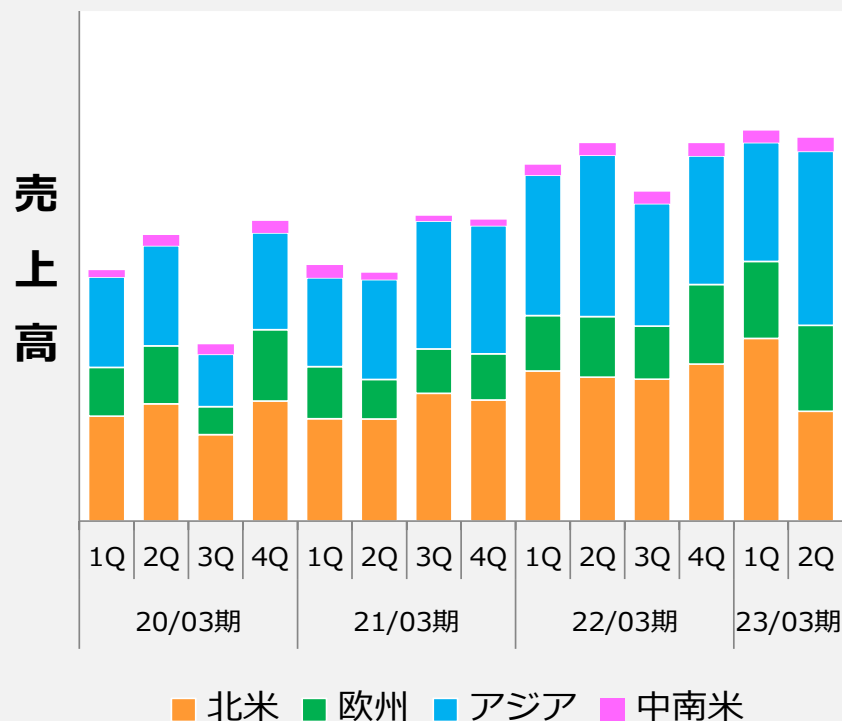
※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。



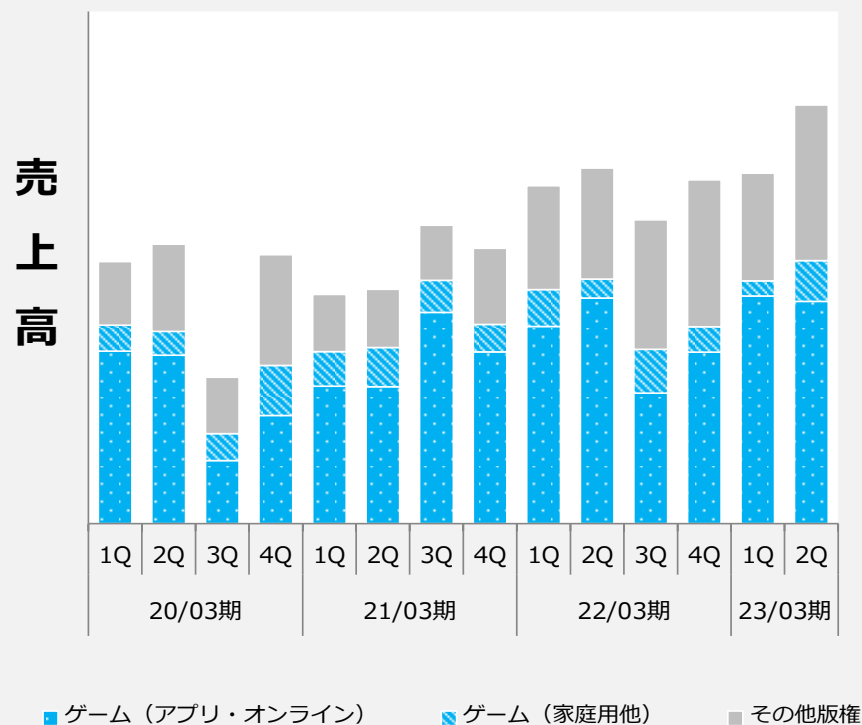
# 海外版權事業の状況

- 欧州・北米での「ドラゴンボール」シリーズや中国での「ワンピース」の商品化権販売が好調に稼働し、大幅な増収
- 「ワンピース」や「デジモン」の中国向けアプリゲーム化権販売が好調に推移
- 北米を中心としたトレーディングカードゲームの売上も引き続き好調を維持

## 海外版權 売上高の推移



## 事業内訳



※子会社連結決算の都合上、左のグラフは連結、右のグラフは当社単体の数値を使用しております。

# 2023年3月期 業績予想 (連結) の修正

(百万円)	通期				
	前回予想 (5/12)	今回修正 (10/21)	増減額	前期実績 (22/3月期)	増減額
売上高	70,000	76,000	6,000	57,020	18,979
営業利益	18,300	23,500	5,200	18,107	5,392
経常利益	18,900	25,000	6,100	18,822	6,177
当期純利益	13,500	18,000	4,500	12,820	5,179

## 【2023年3月期 通期業績予想の根拠】

- 今上期は、映画『ドラゴンボール超 スーパーヒーロー』や『ONE PIECE FILM RED』が大ヒットしたことに加え、両作品の公開に伴い国内外の商品化権、ゲーム化権、並びに配信権販売が期初予想を上回り好調に推移
- 下期は12月より映画『THE FIRST SLAM DUNK』を公開予定。為替動向など不透明な面はあるも、国内外の版權事業や映像製作販売事業が引続き好調を維持するものと見込み、上記の予想

# 中長期の成長に向けた取り組み（上期振り返り）

## ■ ドラゴンボール超 スーパーヒーロー



▼国内公開日  
2022/6/11

▼興行成績  
・国内興行収入：  
25億円  
・海外興行収入：  
113億円（更新中）

- 全世界100カ国以上で上映
- グローバル興行で公開初週の週末興収No.1を達成
- フル3DCGアニメーション  
→製作原価は高むも、CGライブラリー強化に貢献

## ■ ONE PIECE FILM RED



▼国内公開日  
2022/8/6

▼興行成績  
・国内興行収入：  
173億円（更新中）

- シリーズ／東映史上1位の国内興行収入記録を現在も更新中
- タイアップ・キャンペーンや既存アプリゲームへの相乗効果大
- 6大アプリゲームコラボ等、画期的な取り組みも増加

# 中長期の成長に向けた取り組み（作品展開）

## IPの創出



「KAIJU DECODE  
怪獣デコード」  
プロジェクト第1弾として  
2021年に短編CG  
アニメーションが配信開始



「Saint Seiya:  
Knights of the Zodiac  
- Battle for Sanctuary -」  
フル3 DCGの新シーズンが  
2022年7月31日(日)より  
海外先行配信開始



「ミラクユラス レディバグ  
& シャノワール」  
2022年9月24日(土)  
よりシーズン2放映中



実写ハリウッド映画版  
「Knights of the Zodiac  
(聖闘士星矢)」  
2023年 全世界で公開予定



「アサティール」  
サウジアラビアとの  
共同制作TVシリーズ  
シーズン2制作決定



「The Monkey Prince(仮)」  
日中米共同制作作品  
グローバル市場を見据えた  
ファミリー向けアニメーション

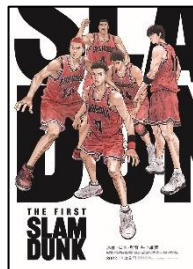
## IPの育成



「ONE PIECE  
FILM RED」  
2022年8月6日(土)  
より公開中



「映画デリシャス  
パーティ♡プリキュア  
夢みる♡お子さまランチ！」  
2022年9月23日(金)  
より公開中



「THE FIRST  
SLAM DUNK」  
2022年12月3日(土)  
公開予定



「美少女戦士セーラームーン  
Cosmos」  
前編・後編  
2023年初夏  
2部作連続公開予定



「悪魔くん」  
2023年  
Netflixシリーズとして  
全世界独占配信予定



「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」  
2023年秋  
アニメーション映画  
公開予定

## 基盤

- IP増強
  - ・IPを軸とした組織へ改編
  - ・新規IP創出数の増強とIPライフサイクルの長期化
- 事業拡張・地域展開拡大
  - ・ハリウッドビジネスへの参入
  - ・上海にコンテンツ企画製作会社設立  
- 中国及びアジア市場開拓を推進
- 製作能力の進化
  - ・IP別に目的特化した製作体制構築
  - ・2D/3D先端技術の統合
  - ・制作工程におけるAI活用PJ推進

# 中長期の成長に向けた取り組み（中長期ポートフォリオ）

～2025年度（26/3期）



	2023年	見込み 2024年	2025年
世界向けオリジナルIP	3本	2本	2本
世界向け原作IP	7本	3本	3本
国内向け原作IP・国内向けオリジナルIP	14本	10本	2本

※作品数は2022年10月27日時点のものであり、今後変動する可能性があります。

# 展開スケジュール

## 展開スケジュール

映像製作・販売事業 著作権事業

商品販売事業 その他事業

23/03期 2Q	「ワンピース」トレーディングカード第1弾発売 [7/8]
	PS4/Switch「デジモンサヴァイブ」発売 [7/28]
	フル3DCGアニメーション「聖闘士星矢: Knights of the Zodiac」新シーズン海外先行配信開始 [7/31]
	映画「ONE PIECE FILM RED」公開 [8/6]
23/03期 3Q	「映画デリシャスパーティ♡プリキュア 夢みる♡お子さまランチ！」公開 [9/23]
	PS4/Switch/Xbox One/STEAM「ドラゴンボール ザ ブレイカーズ」発売 [10/13・14]
	映画「THE FIRST SLAM DUNK」公開予定 [12/3]
	映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」Blu-ray・DVD発売予定 [12/7]
	Switch「滄海天記」発売予定 [12/8]
	PS5・4/Xbox/STEAM「ONE PIECE ODYSSEY」発売予定 [1/12・13]
23/03期 4Q以降	劇場版「美少女戦士セーラームーンCosmos」前後編公開予定 [2023年初夏]
	映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」公開予定 [2023年秋]
	実写ハリウッド映画版「Knights of the Zodiac(聖闘士星矢)」公開予定 [2023年]
	「悪魔くん」Netflixシリーズとして全世界独占配信予定 [2023年]
	国際合作アニメーション映画「The Monkey Prince (仮)」公開予定 [時期未定]
	映画「デジモンアドベンチャー02 THE BEGINNING」公開予定 [時期未定]
	家庭用ゲーム「イノシティ スラッシュ ドラゴンクエスト ダイの大冒険」世界同時発売予定 [時期未定]

## トピック

### 今期展開の映像作品の状況

- 映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」  
-2022年6月11日(土) 公開  
-国内興行収入25億円を記録  
-フル3DCGアニメーションが国内外で高評価
- 映画「ONE PIECE FILM RED」  
-2022年8月6日(土) 公開  
-国内興行収入173億円を突破
- 映画「デリシャスパーティ♡プリキュア 夢みる♡お子さまランチ！」  
-2022年9月23日(金) 公開  
-国内興行収入8億円突破、前作比150%超と好調な推移

### 新作映像展開

- 映画「THE FIRST SLAM DUNK」  
-2022年12月3日(土) 公開予定
- 劇場版「美少女戦士セーラームーンCosmos」  
-2023年初夏 《前編》《後編》2部作連続公開予定
- 映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」  
-2023年秋 公開予定
- 実写ハリウッド映画版「Knights of the Zodiac(聖闘士星矢)」  
-2023年 全世界で公開予定
- 配信「悪魔くん」  
-2023年 Netflixシリーズとして全世界独占配信予定
- 映画「デジモンアドベンチャー02 THE BEGINNING」  
-デジモンシリーズ最新映画の公開が決定

# 配当について

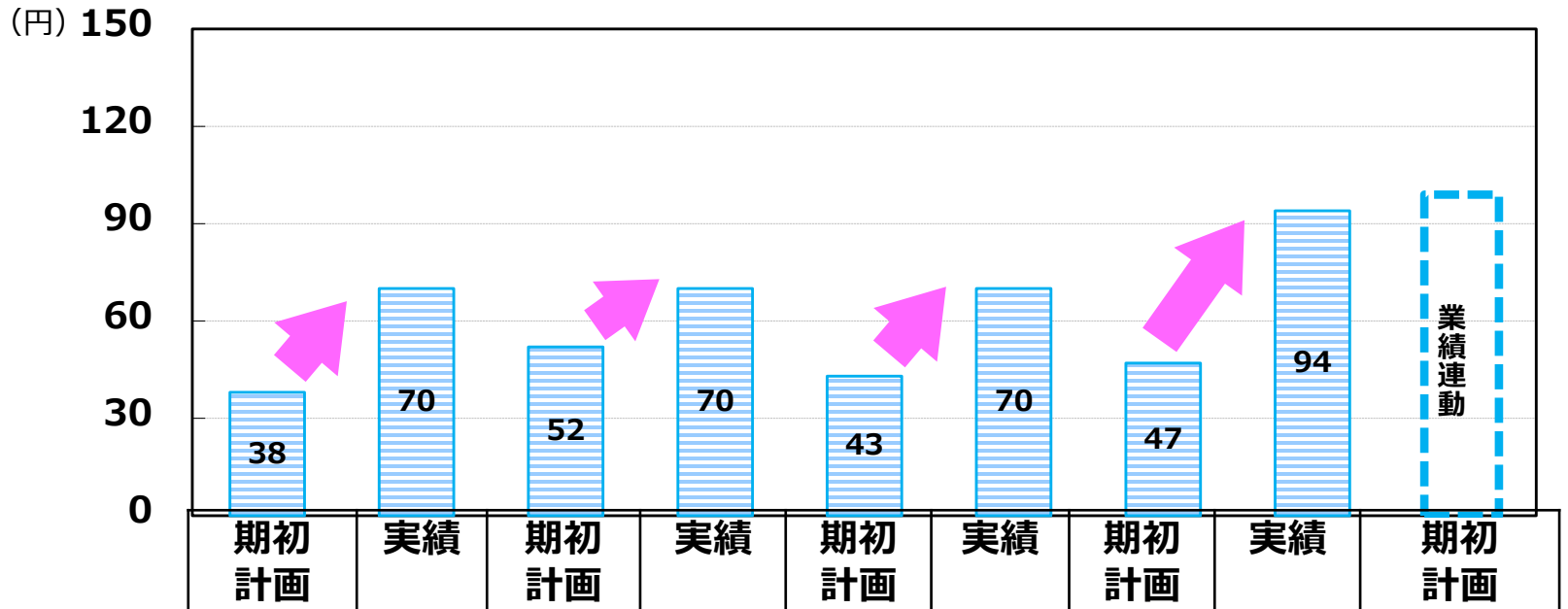
## 期末配当

2022年3月期

1株あたり 94円

2023年3月期

連結業績に応じ総合的に勘案して決定



年度	19/03	20/03	21/03	22/03	23/03
※1株当たり配当金	70円	70円	70円	94円	99円(※1)
配当性向	25.2%	25.0%	25.9%	30.0%	-

※1 期初の業績予想に基づき、今期と同程度の配当性向の場合

# ご参考①(放映中作品)



日曜あさ9:30～  
フジテレビほか



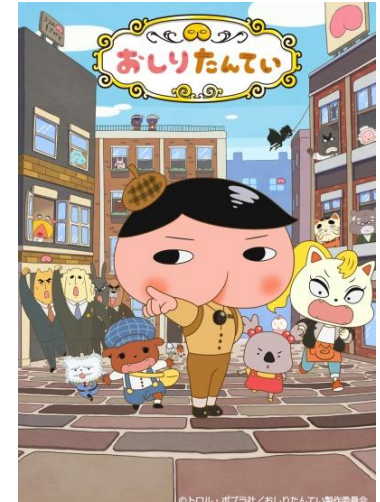
日曜あさ8:30～  
ABCテレビ・テレビ朝日系列



日曜あさ9:00～  
フジテレビほか



金曜ゆうがた6:40～  
NHK Eテレ



土曜あさ9:00～  
NHK Eテレ

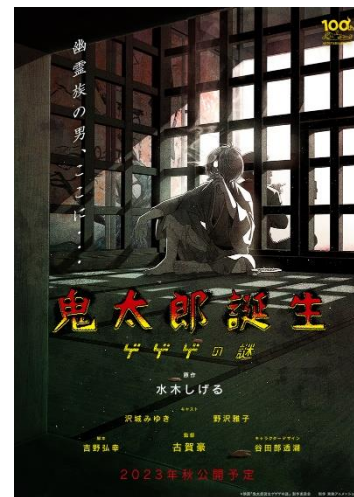




# ご参考③(2024年3月期～予定作品)



『美少女戦士セーラームーンCosmos』 前編・後編  
2023年初夏 2部作連続公開予定



『鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎』  
2023年秋 劇場公開予定



『悪魔くん』  
2023年 Netflixにて全世界独占配信予定



実写ハリウッド映画版『Knights of the Zodiac』  
2023年 全世界で公開予定



**TOEI ANIMATION**

*Since 1956*

**【見通しに関する注意事項】**

**当資料に記載されている内容は、現在入手している  
情報に基づく判断および仮定に基づいており、  
記載された将来の計画数値、戦略、施策の実現を  
確約したり、保証するものではありません。**